

2016年3月期 第1四半期電話会議資料

(2871)

株式会社ニチレイ

【お問合せ先】

財務IR部 IRグループ

TEL: 03-3248-2167

E-mail: irinfo@nichirei.co.jp

URL: <http://www.nichirei.co.jp/ir/index.html>

主力事業がいずれも計画線上で推移

単位:億円

		2016年3月期														
		第1四半期			第2四半期(累計)						通期					
		実績	前年同期間比		見込	前年同期間比		前回見込比		見込	前年同期間比		前回見込比		中計比	
			増減	率		増減	率	前回見込	増減		増減	率	前回見込	増減	中計	増減
加工食品	486	19	4%	1,017	51	5%	1,017	0	2,040	101	5%	2,040	0	1,842	198	
水産	157	-5	-3%	333	-14	-4%	333	0	688	1	0%	688	0	650	38	
畜産	225	16	8%	418	-2	-0%	418	0	840	-55	-6%	840	0	735	105	
低温物流	446	10	2%	917	27	3%	917	0	1,837	54	3%	1,837	0	1,790	47	
不動産	12	0	2%	23	-2	-6%	23	0	47	-0	-1%	47	0	48	-1	
その他	11	2	27%	21	3	18%	21	0	46	2	5%	46	0	45	1	
調整額	-52	-3	-	-105	-5	-	-105	0	-208	-12	-	-208	0	-198	-10	
売上高合計	1,286	40	3%	2,624	60	2%	2,624	0	5,290	90	2%	5,290	0	4,912	378	
加工食品	16	9	151%	31	10	46%	31	0	65	11	21%	65	0	82	-17	
水産	-0	-1	-	2	-0	-16%	2	0	5	3	104%	5	0	7	-2	
畜産	1	0	34%	2	-0	-5%	2	0	5	1	34%	5	0	7	-2	
低温物流	24	6	34%	43	2	4%	43	0	91	4	4%	91	0	90	1	
不動産	6	1	11%	10	-1	-5%	10	0	21	-0	-1%	21	0	21	0	
その他	1	1	89%	2	1	77%	2	0	5	-1	-12%	5	0	5	0	
調整額	-3	-0	-	-2	-0	-	-2	0	-5	-5	-	-5	0	-8	3	
営業利益合計	45	15	51%	88	11	15%	88	0	187	13	7%	187	0	204	-17	
経常利益	46	14	43%	84	8	11%	84	0	180	11	6%	180	0	197	-17	
純利益	29	13	81%	53	11	25%	53	0	113	18	19%	113	0	120	-7	

為替レート	2015年度	2015年度	2014年度
	見込	実績	実績
米ドル/円	122.00	119.10	102.78
ユーロ/円	130.00	134.18	140.79

ROE(株主資本利益率)	8.4%	0.8%	8.4%	-	8.8%	-0.4%
EPS	40円	7円	20%	40円	-	

注:①純利益は「親会社株主に帰属する純利益」を指しています。
 ②当期より加工食品事業の売上の計上基準について会計方針を変更(販売促進費等を販売費計上ではなく売上高から控除する方法へ変更)しています。これに伴い、前期の数値も遡及修正を行っています。詳細は6ページを参照ください。
 ③為替レートの実績は1月~3月までの期中平均で算出しています。

- 1.主力の加工食品と低温物流に加え、畜肉相場が上昇した畜産も伸長し増収。
- 2.低温物流に加え、前期に実施したコスト吸収効果が本格化した加工食品が増益に寄与。
- 3.見込は5月12日に発表した期初見込から変更なし。

調理冷凍食品の利益改善策が寄与し増益

単位: 億円

		2016年3月期												
		第1四半期			第2四半期(累計)				通期					
		実績	前年同期間比		見込	前年同期間比		前回見込比		見込	前年同期間比		前回見込比	
			増減	率		増減	率	前回見込	増減		増減	率	前回見込	増減
加工食品	売上高 計	486	19	4%	1,017	51	5%	1,017	0	2,040	101	5%	2,040	0
	家庭用調理品	108	-3	-3%	230	4	2%	230	0	472	10	2%	472	0
	業務用調理品	208	-6	-3%	445	8	2%	445	0	914	31	4%	914	0
	農産加工品	49	6	15%	91	0	0%	91	0	173	0	0%	173	0
	海外	74	13	21%	152	27	22%	152	0	309	42	16%	309	0
	その他	47	9	23%	99	12	13%	99	0	172	16	10%	172	0
	営業利益	16	9	151%	31	10	46%	31	0	65	11	21%	65	0

注: 当期より売上の計上基準について会計方針を変更(販売促進費等を販売費計上ではなく売上高から控除する方法へ変更)しています。これに伴い、前期の売上高、営業利益についても遡及修正を行っています。詳細は6ページを参照ください。

1. 調理冷凍食品は前期に実施した価格改定の影響などにより販売数量が減少。一方、天候不順による生鮮野菜の代替として需要が高まった農産加工品は大きく伸長。営業利益は円安を含む原材料・仕入コスト増が続いたが、前期実施の価格改定を含む利益改善策が奏功し増益。
2. 海外はアジアフーズの販売が引き続き好調な米国のイノバジアン・クイジーンが全体を牽引。
3. GFPTニチレイはタイの国内販売相場の下落などにより現地通貨ベースでは減収、営業利益も期初の見込より大きく下振れして推移。

水産は減収減益、畜産の営業利益は前年並み

単位:億円

		2016年3月期												
		第1四半期			第2四半期(累計)				通期					
		実績	前年同期間比		見込	前年同期間比		前回見込比		見込	前年同期間比		前回見込比	
			増減	率		増減	率	前回見込	増減		増減	率	前回見込	増減
水産	売上高	157	-5	-3%	333	-14	-4%	333	0	688	1	0%	688	0
	営業利益	-0	-1	-	2	-0	-16%	2	0	5	3	104%	5	0
畜産	売上高	225	16	8%	418	-2	-0%	418	0	840	-55	-6%	840	0
	営業利益	1	0	34%	2	-0	-5%	2	0	5	1	34%	5	0

- 1.水産はサケの相場の乱高下で収益確保に苦戦。調達先の多様化によるコスト低減が十分に進まなかったエビ加工品の採算も悪化。2Q以降も全般的に相場の高止まりが見込まれるなか、引き続き慎重な買い付けと回転を重視した販売を徹底する。
- 2.畜産は市中在庫の高止まりで相場が軟調だった輸入ポークの収益性が悪化。一方、供給不足で販売価格が上昇した国産のチキンやビーフの拡販に繋がったことで営業利益は前年並みを維持。期初に重点販売先として位置付けた中食や外食向けの売上は好調に推移。

国内事業を中心に業績は堅調に推移

単位: 億円

		2016年3月期												
		第1四半期			第2四半期(累計)						通期			
		実績	前年同期間比		見込	前年同期間比		前回見込比		見込	前年同期間比		前回見込比	
			増減	率		増減	率	前回見込	増減		増減	率	前回見込	増減
低温物流	売上高計	446	10	2%	917	27	3%	917	0	1,837	54	3%	1,837	0
	国内小計	365	7	2%	749	17	2%	749	0	1,488	41	3%	1,488	0
	物流ネットワーク	224	-4	-2%	460	-1	-0%	460	0	918	4	0%	918	0
	地域保管	142	10	8%	289	18	7%	289	0	570	37	7%	570	0
	海外	77	4	6%	160	10	7%	160	0	323	10	3%	323	0
	その他・共通	4	-1	-16%	8	-0	-4%	8	0	26	3	15%	26	0
	営業利益計	24	6	34%	43	2	4%	43	0	91	4	4%	91	0
	国内小計	24	6	37%	40	2	6%	40	0	83	6	8%	83	0
	物流ネットワーク	9	3	50%	16	2	16%	16	0	34	2	7%	34	0
	地域保管	14	3	29%	24	0	1%	24	0	49	4	8%	49	0
	海外	2	-0	-3%	6	1	20%	6	0	11	1	9%	11	0
	その他・共通	-2	-0	-	-3	-2	-	-3	0	-3	-3	-	-3	0

- 国内は前期に稼働した咲洲DCの新設効果などにより増収。今期も輸配送コストは引き続き上昇しているが、運送効率化を含むコスト吸収効果が本格化したことに加え、東京圏を中心に保管貨物の在庫量が高水準で推移したことなどにより増益。
- 海外は欧州で運送の取り扱いが引き続き拡大し増収。営業利益は為替影響により微減となったが、果汁の出庫に付随する軽加工業務などが堅調に推移し、現地通貨ベースでは増益を確保。

參考資料

連結バランスシートの変動要因

単位：億円(未満切り捨て)

科目	15/3	15/6	増減	
〔資産の部〕				
流動資産	1,387	1,427	40	①
固定資産	2,032	2,032	△0	
資産の部合計	3,420	3,460	40	
〔負債・純資産の部〕				
流動負債	897	924	26	
固定負債	999	1,002	2	
負債の部合計	1,897	1,926	29	
純資産の部	1,522	1,533	10	
(うち株主資本)	1,303	1,318	14	
有利子負債	1,076	1,118	41	②
(うちリース債務除く)	873	918	45	
科目	14/6	15/6	増減	
設備投資等	29	33	3	
(うちリース資産除く)	25	26	1	
減価償却費	36	40	3	
(うちリース資産除く)	27	30	3	

【主な要因】

- ① たな卸資産＋30
(季節的要因など)
- ② 有利子負債＋41
(営業資金の増加に加え、配当金や法人税等、消費税等の支払いなどの季節的要因による資金需要の増加)

注:「設備投資等」には無形固定資産への投資を含む。

加工食品事業の売上計上基準変更の影響について

1.売上高

【組替後】				【組替前】				【影響額】			
単位:億円				単位:億円				単位:億円			
	2014年度				2014年度				2014年度		
	1Q	第2四半期 (累計)	通期		1Q	第2四半期 (累計)	通期		1Q	第2四半期 (累計)	通期
売上高 計	1,246	2,564	5,200	売上高 計	1,308	2,692	5,453	売上高 計	-62	-128	-253
加工食品 小計	467	966	1,939	加工食品 小計	529	1,093	2,193	加工食品 小計	-62	-128	-253
家庭用調理品	111	226	462	家庭用調理品	144	292	597	家庭用調理品	-33	-66	-135
業務用調理品	214	437	883	業務用調理品	235	480	965	業務用調理品	-21	-43	-83
農産加工品	43	91	173	農産加工品	49	103	197	農産加工品	-6	-12	-24
海外	61	125	267	海外	61	125	267	海外	0	0	0
その他	38	87	156	その他	41	93	167	その他	-2	-6	-11

2.営業利益

【組替後】				【組替前】				【影響額】			
単位:億円				単位:億円				単位:億円			
	2014年度				2014年度				2014年度		
	1Q	第2四半期 (累計)	通期		1Q	第2四半期 (累計)	通期		1Q	第2四半期 (累計)	通期
営業利益 計	30	77	174	営業利益 計	28	77	176	営業利益 計	1	-0	-2
うち、加工食品	6	21	54	うち、加工食品	5	22	56	うち、加工食品	1	-0	-2

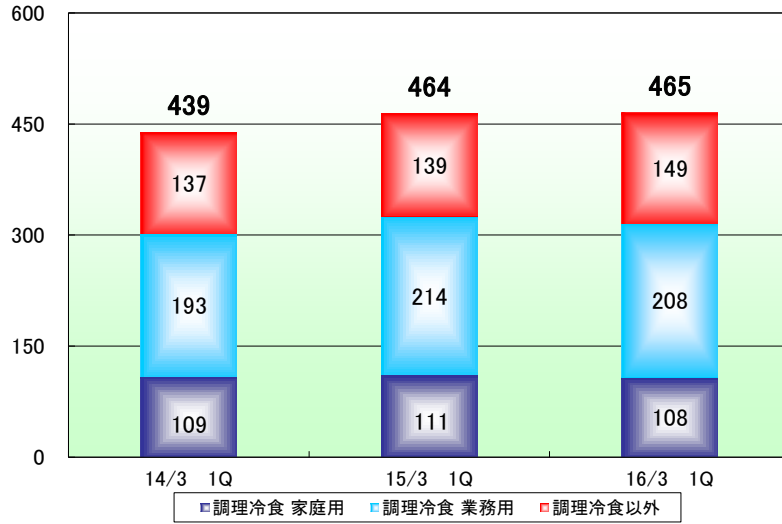
3.当期純利益

【組替後】				【組替前】				【影響額】			
単位:億円				単位:億円				単位:億円			
	2014年度				2014年度				2014年度		
	1Q	第2四半期 (累計)	通期		1Q	第2四半期 (累計)	通期		1Q	第2四半期 (累計)	通期
当期純利益	16	42	95	当期純利益	15	43	97	当期純利益	1	-0	-2

国内の冷凍食品売上高の推移

(日本冷凍食品協会定義にもとづき、加工食品のほか水産畜産の売上も含む)

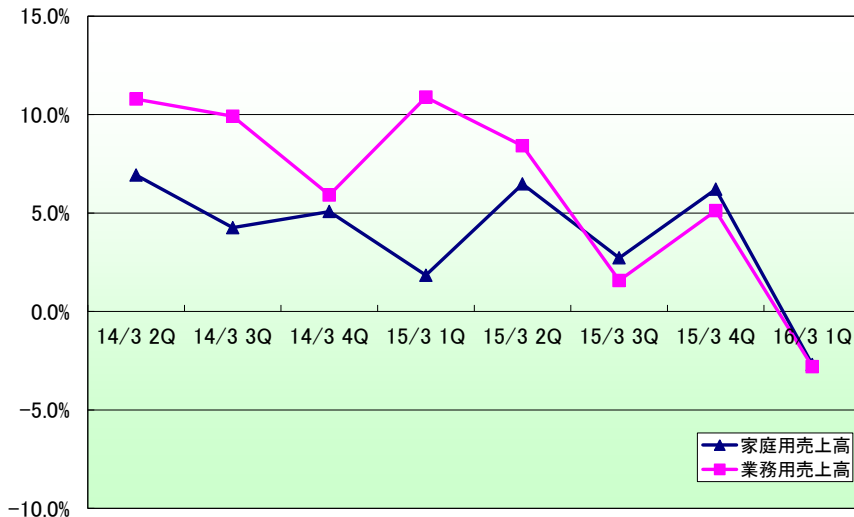
単位:億円



注: 売上計上基準の変更(従来、販売費で計上していたものの一部を売上高から控除)による影響を反映。

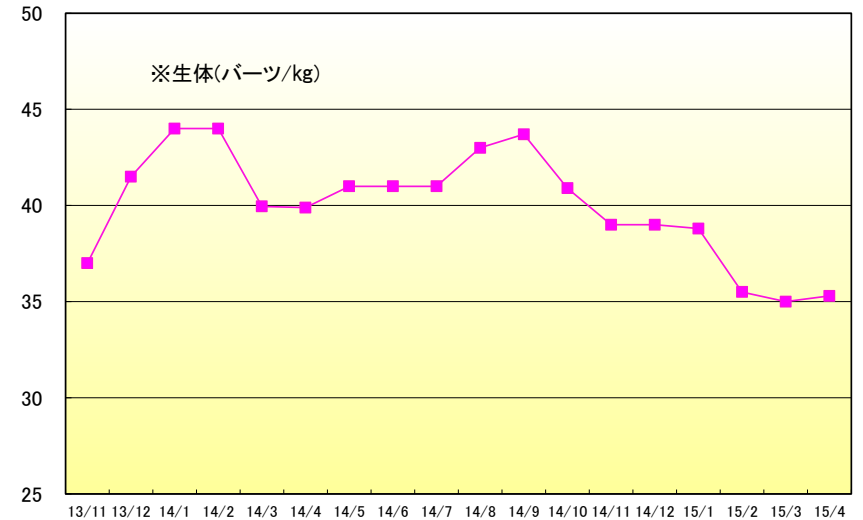
当社の家庭用・業務用調理冷食の売上高前年比増減率推移

増減率



タイ国内鶏肉卸売価格の推移

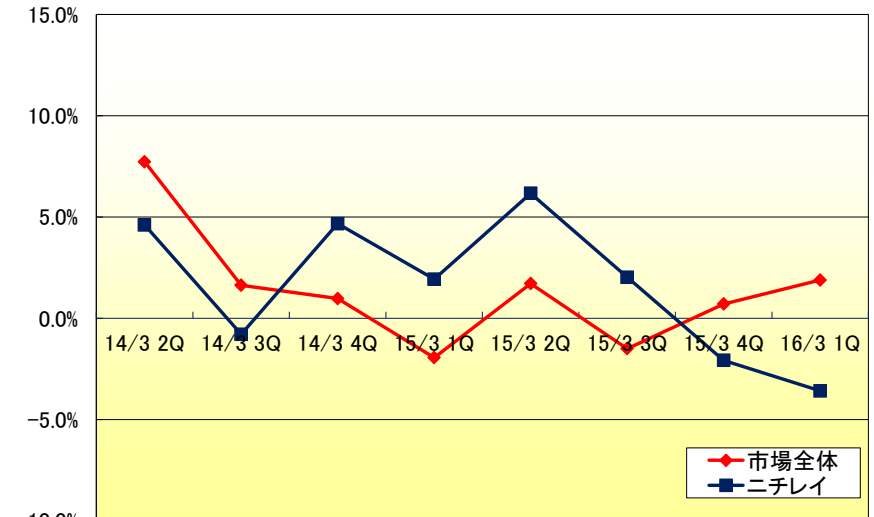
単位:パーツ



出典: (独)農畜産業振興機構(alic)発表のデータを当社が加工

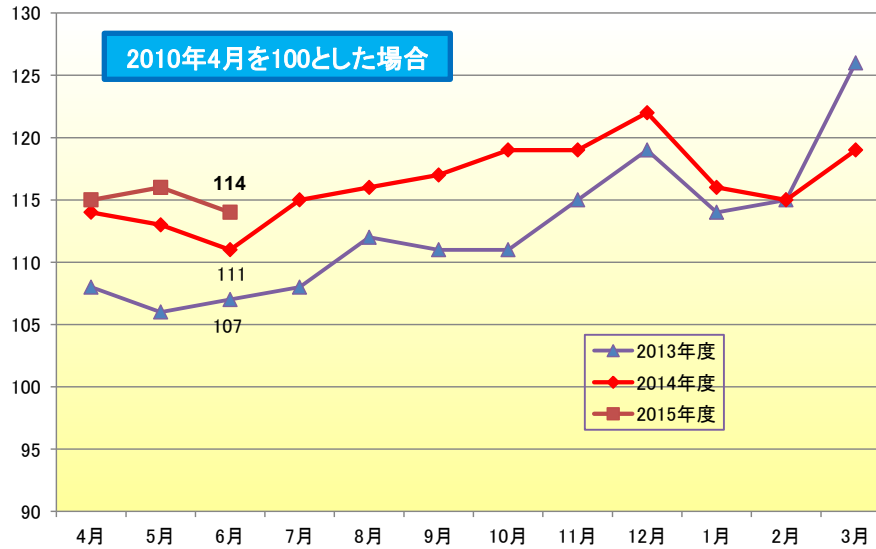
SCI 家庭用調理冷凍食品 100人当たり購入金額の前年比推移

増減率



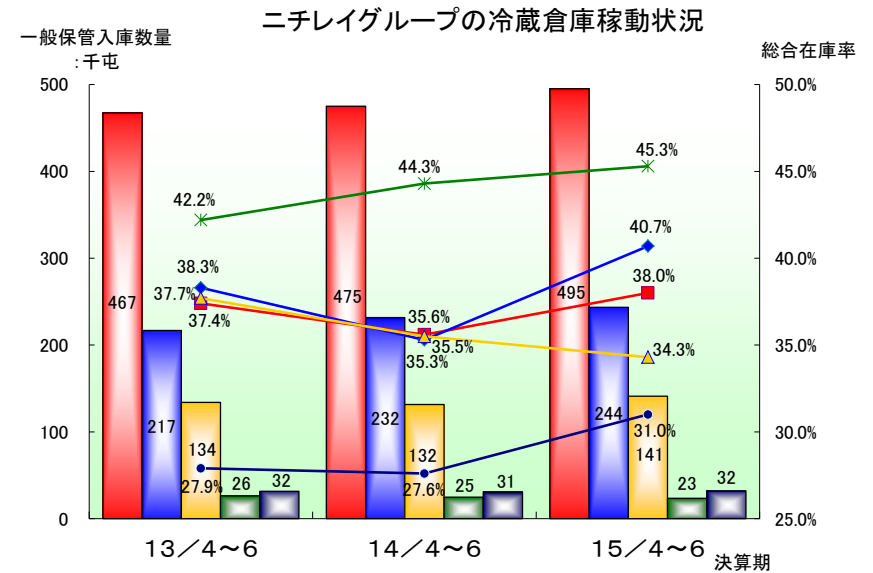
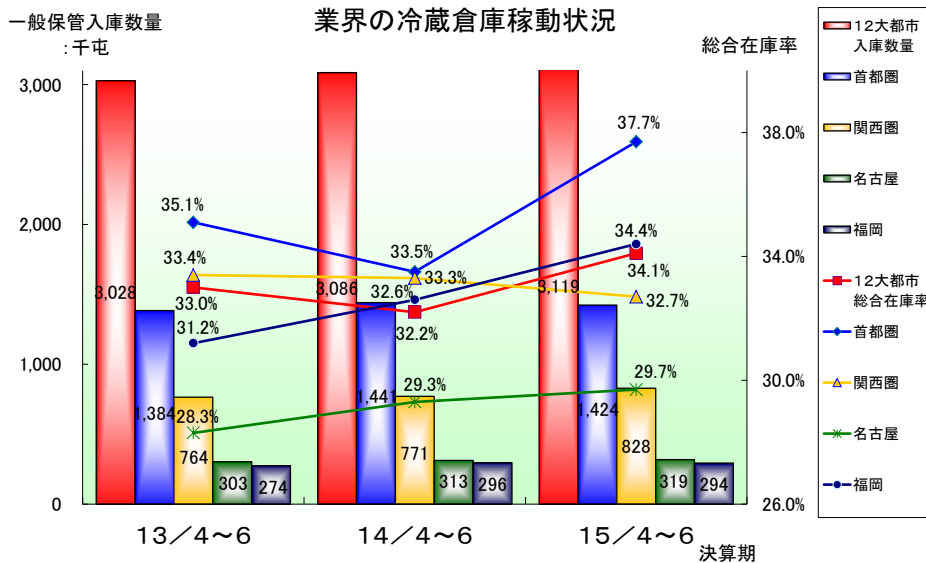
出典: インテージSCI(冷凍調理) 100人当たり購入金額の前年同期比。購入ルート=生協店舗を除く

成約運賃指数(月別)の推移



出典：(社)全日本トラック協会発表のデータを当社が加工。常温を含む全温度帯が対象

冷蔵倉庫の稼働状況(業界は日本冷蔵倉庫協会資料を当社で加工)



注：在庫率は冷蔵庫内の全スペースにおいて貨物が占める割合を指す。スペースには通路や作業空間などの荷物が置けない空間が通常半分程度含まれる。

当資料取扱い上のご注意

当資料に記されたニチレイの現在の計画・見通し・戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」その他これらの類義語を用いたものに限定されるものではありません。これらの情報は、現在において入手可能な情報から得られたニチレイの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。このため、これらの業績見通しのみ全面的に依拠して投資判断されることは、お控えいただくようお願いいたします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常にニチレイが将来の見通しを見直すとは限りません。実際の業績に影響を与え得るリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます：

- ①ニチレイグループの事業活動を取り巻く経済情勢および業界環境
- ②米ドル・ユーロを中心とした為替レートの変動
- ③商品開発から原料調達、生産、販売まで一貫した品質保証体制確立の実現性
- ④新商品・新サービス開発の実現性
- ⑤成長戦略とローコスト構造の実現性
- ⑥ニチレイグループと他社とのアライアンス効果の実現性
- ⑦偶発事象の結果
など

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。当資料は、あくまでニチレイをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。